

保険者協議会とのコラボによる事業推進

—平成20年度振り返って—

静岡県厚生部健康増進室
土屋 厚子



静岡県

【平成20年4月1日現在】

- 人口 3,875,271人
- 高齢化率 21.7%
- 市町数 41市町
- 医療保険者数 103ヶ所

「しずおか健康創造21アクションプラン」とは
「静岡県健康増進計画」

目指すもの（目標）

健康寿命の延伸 と 生活の質の向上

関係計画（調和）

- ・ 静岡県医療費適正化計画
- ・ 静岡県保健医療計画
- ・ 静岡県がん対策推進計画
- ・ 静岡県介護保険事業支援計画

「しずおか健康創造21アクションプラン」

重点目標

- 1 特定健診を年1回受診する。**
- 2 特定保健指導を受け、生活習慣を改善する。**
- 3 メタボリックシンドローム該当者・予備群を減らす。**

特徴

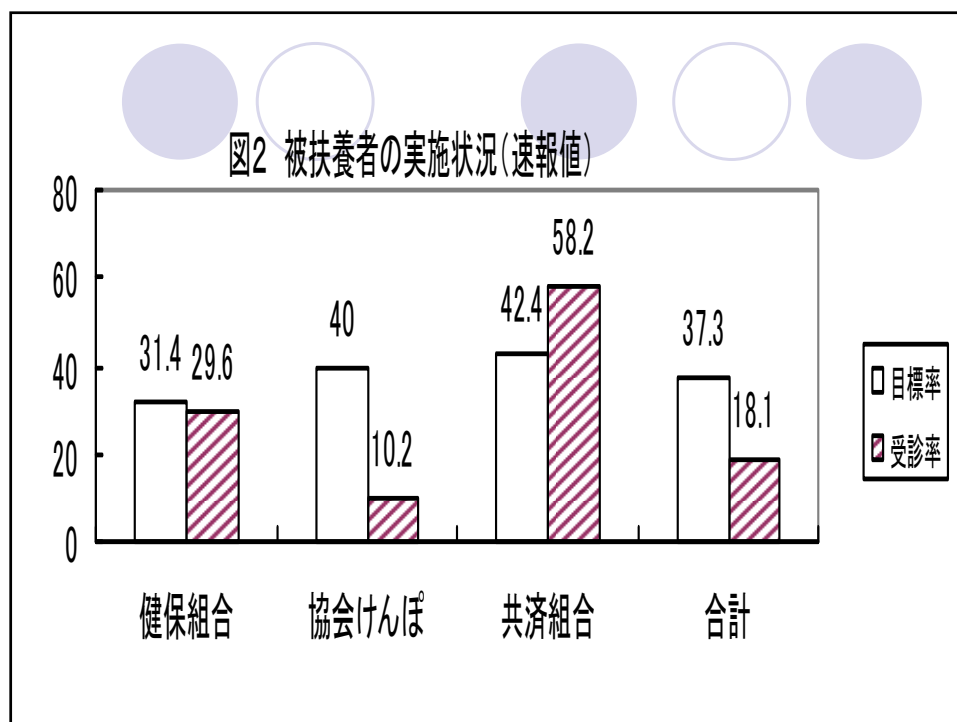
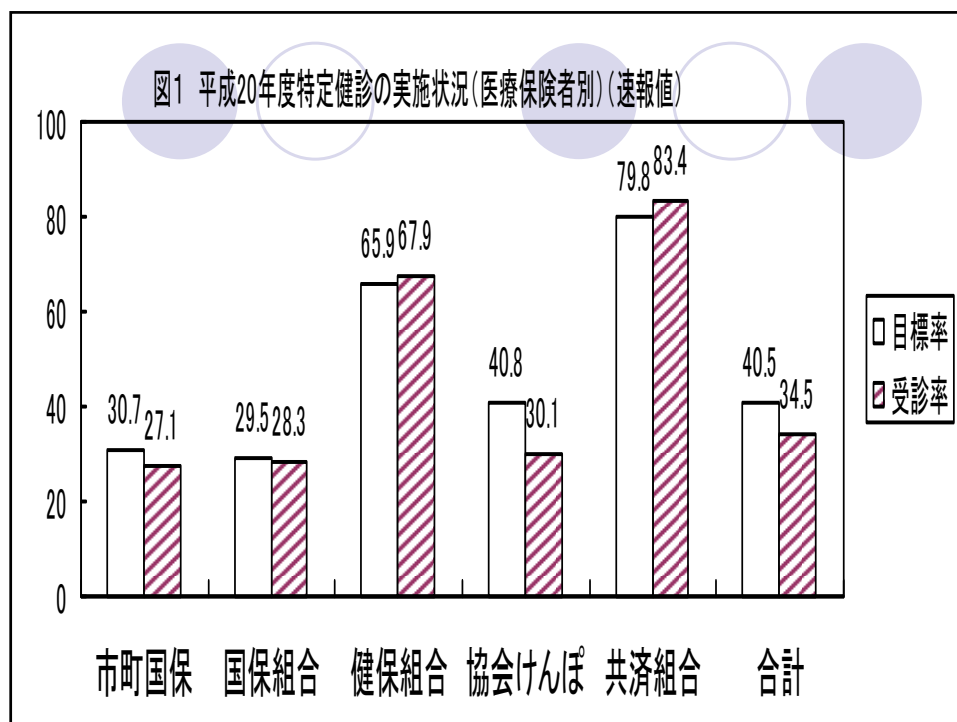
**40代、50代の男性など働き盛り世代を
ターゲットに生活習慣病予防対策を推進**

- 
- 新しい健診制度は、
住民にどう影響したのか。

特定健診実施状況(速報値)

H21.5月現在健康増進査調査
※確定値ではありません

医療保険者名 (回答数/保険者数)		特定健診		
		実施者数	受診率	目標率
市町国保(37/37)	被保険者	196,461	27.1%	30.7%
国保組合(5/5)	被保険者	5,605	28.3%	29.5%
健康保険組合 (46/50)	被保険者	119,056	84.1%	81.4%
	被扶養者	17,714	29.6%	31.4%
	計	136,770	67.9%	65.9%
全国健康保険 協会(1/1)	被保険者	117,612	36.9%	41.0%
	被扶養者	11,122	10.2%	40.0%
	計	128,734	30.1%	40.8%
共済組合 (2/4)	被保険者	8,129	96.4%	95.0%
	被扶養者	2,525	58.2%	42.4%
	計	10,654	83.4%	79.8%
計(91/97)		478,224	34.5%	40.5%



特定保健指導実施状況(速報値)

H21.5月現在健康増進室調査
※確定値ではありません

医療保険者名 (回答数/保険者数)		特定保健指導		
		実施者数	実施率	目標率
市町国保(37/37)	被保険者	7,377	29.8%	26.5%
国保組合(5/5)	被保険者	0	0.0%	20.0%
健康保険組合 (46/50)	被保険者	4,278	19.0%	25.3%
	被扶養者	87	6.8%	19.6%
	計	4,365	18.4%	24.5%
全国健康保険 協会(1/1)	被保険者	1,919	8.8%	18.7%
	被扶養者	0	0.0%	20.0%
	計	1,919	8.4%	18.7%
共済組合 (2/4)	被保険者	805	23.7%	17.9%
	被扶養者	13	8.3%	15.3%
	計	818	23.1%	17.7%
計(91/97)		14,479	19.2%	22.7%

☆影響

住民の声

- 居住地の身近な場所で健診ができない。
- 自己負担額が増加。
- 保険証を持っていかないと健診ができない。
- いままでと違った健診の申し込み方法になりわからない。
- がん検診と一緒にできなくなった。
- 健診項目が減り、魅力がなくなった。
- 保健指導にお金がかかることにびっくりした。
- 治療中であり、健診を受けなくてよいと思った。
- 結果が返ってくるのに時間がかかるようになった。



☆課題・問題点

【1】特定健診等の体制整備が不十分

(特定健診)

- 健診日(平日昼間)、健診期間が限定されている。
- 特に、被扶養者は、身近な健診機関で受診できない。

(特定保健指導)

- 特定保健指導の実務者の習熟度不足等で実施体制が整っていない。
- 保健師等のマンパワー不足。
- 特定保健指導のアウトソーシング先を上手に活用していない。



(2)制度の周知が不十分

- 40代、50代の働き盛り世代の受診率が低い。
- 健診の必要性について事業主の理解が不足
- 住民健診から特定健診へ受診方法が変更されたことについて、被扶養者への周知が十分でない。

静岡県での取組

保険者協議会とのコラボ事業【主な事業】



実施状況の実態調査

特定健診・特定保健指導
実践者研修会や
情報交換会などの開催

医師会など
関係機関との
打ち合わせ

実施状況実態調査の概要【年4回】

○特定健診の調査項目

実施状況

実施形態、実施場所、実施機関、周知・
広報の方法、実施項目、自己負担額

事業所からのデータの受領方法

課題、問題点

県への要望

実施状況実態調査の概要

○特定保健指導の調査項目

実施状況

プログラム数、積極的支援の期間、ポイント数、プログラムの工夫点、評価項目、実施手引書の作成、終了者フォロー、事業評価、脱落者のフォロー、医療機関との連携

医療保険者への実態調査



【県】実施率、受診促進の取組、課題などの情報を提供

【医療保険者】
実施の課題がみえる
受診促進の取組

【関係機関】
実施の効果、課題が
みえる

平成20年度の事業内容

(1) 普及・啓発

- ・ 健診（検診）実施率の向上に向けた啓発 特定健診受診勧奨ポスター、電車吊広告（国保連共同作成6月）
- ・ 各種健（検）診勧奨ポスター、チラシ、健診（検診）活用ガイド等の作成
- ・ 新制度周知のため、マスメディア等を活用した啓発
- ・ SBSラジオ「こんにちは県庁」（4、5、7、10月）、バス等文字放送
- ・ 労働局と連携し、チラシ作成

(2) 体制整備

- ・ 医療保険者における実施体制調査等による状況の情報提供（4回実施）
- ・ 生活習慣病対策協議会及び健診・保健指導検討部会の開催
- ・ 生活習慣病対策連絡会（各健康福祉センター（二次医療圏単位））の開催
- ・ 集合契約の成立に向け、保険者協議会等との連携・調整



体制整備(人材の育成・確保)

特定健診・特定保健指導実践者研修会の開催

- (目的) 特定健診・特定保健指導事業を効果的・効率的に企画・立案・運営でき、標準的な保健指導プログラムを踏まえた事業の展開により、対象者の行動変容につながる保健指導ができるよう実践者を育成する。
- 本県では、「厚生労働省健康局作成の健診・保健指導の研修ガイドライン」で定めている時間数より多く、「専門実践(スキルアップ)編」を実施している。



● [医療保険者向け]

- 第1回 6月23日 (基礎編、技術編) 174名参加
- 第2回 7月4日 (計画編、評価編) 174名参加
- 第3回 8月5、12、26日 (技術編) 179名参加
- 第4回 7月23日 9月29日10月27日
(スキルアップ編) 256名参加

● [特定健診、特定保健指導実施機関向け]

- 第1回 2月15日 (基礎編、技術編) 229名参加
- 第2回 3月1日 (技術編) 229名参加

(3) 市町・保険者への指導・支援

- 医師会・医療保険者との打ち合わせ
- 委託先としてのアウトソーシング情報を提供するための実施機関調査の検討
- 市町等の特徴ある医療保険者の取組みの事例集の検討
- 市町ヒアリング(健康福祉センターが実施)
- 情報交換会の開催(健康福祉センターが実施)
-

県内市町国保保険者の実施状況

アンケート調査実施 平成20年12月10日～25日 39市町

目的：保険者支援のための現状把握と「保健指導の参加者が少ない、他の市町の実施状況を知りたい」という市町の声に応える

1. 保険者の規模と特定保健指導対象者

1) 国保特定保健指導対象者 県内人口3,798,258人 (2008.10.01)

	県 (A)	市町国保 (B)	割合 (B/A)
40～74歳	1,744,256人	770,738人	44%
(再掲) 40～64歳	1,291,197人	412,273人	32%
(再掲) 65～74歳	453,059人	358,465人	79%

2) 対象人口別市町数

人口規模	市町数	人口規模	市町数
5千人以下	13	3～5万	1
1万人以下	10	5～10万	1
1～3万	11	10万人以上	2

2) 特定健診・保健指導開始月

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特定健診	1	3	24	12	1	—	—	—	—	—	—	—	41
保健指導	—	—	4	7	6	9	9	2	1	1	—	—	39

※特定健診開始時 4 1 市町保険者・特定保健指導開始時 3 9 市町保険者

3) 特定保健指導従事者の状況

	従事者 *	実践者育成研修了者	修了率
保健師	213	88	41%
看護師	10	1	10%
管理栄養士	45	12	27%
その他	10	3	30%
計	278	104	37%

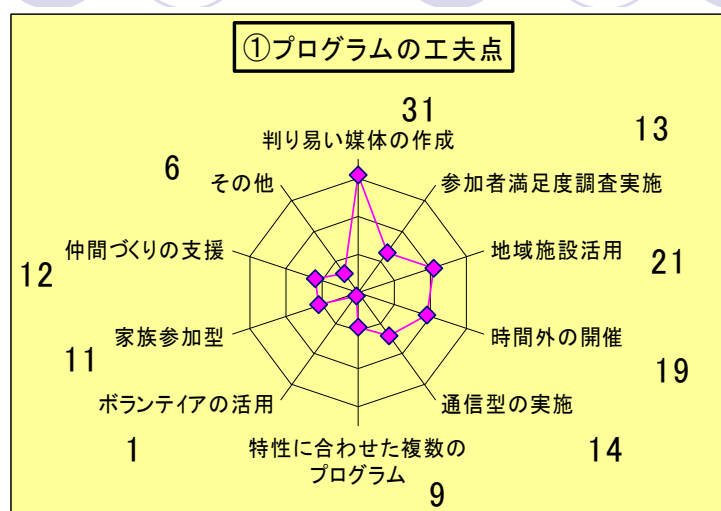
4) 実施率順 見込み人数 (40~74歳)

実施率順	対象人口	見込み人数	実施率
1 A町	2,395	160	6.7%
2 B市 ~ 4 E市	5,698~30,175	231~1,347	4.1~4.7%
5 F町 ~ 8 I市	3,995~152,478	147~4,640	3.0~3.7%
小計	248,087	8,309	平均 3.3%
9 J町 ~ 39 I市	2,010~149,478	9~578	0.1~2.9%
合計	770,738	13,153	平均 1.7%

5) 実施方法別実施割合

	1%未満	1%台	2%台	3%台	4%台	5%台	6%台	計
委託しない	3	9	8	3	2	0	1	26
一部委託	2	2	1	1	1	0	0	7
全部委託	4	2	0	0	0	0	0	6

5) プログラムの内容



特定保健指導推進のための取り組み

1) 保健指導プログラムの状況

—	上位8市町国保平均	県平均
プログラム数	動機付け2.1 積極的 3.0	動機付け1.6 積極的 1.8
支援期間（積極的支援）	20.0週	21.0週
ポイント数（積極的支援）	最小180～190（181.0） 最大190～540（333.1）	最小180～420（198.2） 最大180～700（298.8）
プログラムでの工夫点 時間外 家族参加型	平均4.0個 100% 50%	平均3.5個 49% 28%
評価項目の設定あり	50.0%	23.1%

2) 推進のための取組状況

優先順位づけ設定あり	40.0%	28.2%
特定保健指導対象者以外 に取り組む	62.5% 受診勧奨者 320 その他 466 計 786人	46.1% 治療中のもの 37 受診勧奨者 725 その他 870 計 1632人
医療機関との連携あり	100%	74%
事務職との共同作業あり	100%	87%
実践者育成研修修了者	62.5%	37.4%
職場内研修の実施	75.0%	71.8%
終了者のフォロー実施	62.5%	74.4%
実施手引書作成済み	37.5%	41.0%
専門職増員数 (21年度予定)	8市町国保合計 保健師 4 管理栄養士 1 その他 1 計 6人	39市町国保合計 保健師 5 管理栄養士 7 その他 1 計 13人

21年度の取組

- (1) いつでも、どこでも、誰でも受診できるための健診体制整備
 - ○土日の健診、健診期間の延長など体制整備を促進
 - ○実施機関数の拡大のために集合契約の締結支援及び自治体病院への参加働きかけ
 - ○医療保険者及び実施機関向けに、実務者研修会を開催
 - ○保健指導のアウトソーシング実態調査及び医療保険者への情報提供
 - ○効果を挙げている取組事例を収集し、医療保険者に提供

(2) 受診促進のための周知・啓発

- 6月を中心に保険者協議会、労働局、市町等と連携して「**健診受けましようキャンペーン**」を展開し、受診促進を集中的にPR
- **父の日向け街頭キャンペーン**
- (6月19日JR静岡駅)
- **マスメディアを活用した受診促進の広報**
(**テレビCM放映、新聞、ラジオ放送**)(国保連)
- 各健康福祉センターが商工会議所、労働基準監督署等と連携し、制度周知のためのポスター等を共同作成、配布
- チラシなどのPDFファイルを医療保険者に提供

静岡県での取組予定21

保険者協議会とのコラボ事業【主な事業】



実施状況の実態調査
健診データのまとめ

効果的な取組事例集の作成
受診促進・評価の研修会や
情報交換会などの開催

健診受けましょう
キャンペーンの実施
医師会など関係機関との
打ち合わせ

健診受けましょうキャンペーン(静岡駅) (父の日の前に実施)



受診促進のための情報交換会

- ソーシャルマーケティングにおけるコミュニケーション(受診率向上)の学習
- グループワークの実施
- 特定健診未受診者対策など訪問家庭訪問事業の発表(国保連)
- 受診率がよい医療保険者の発表(市町国保、健康保険組合)

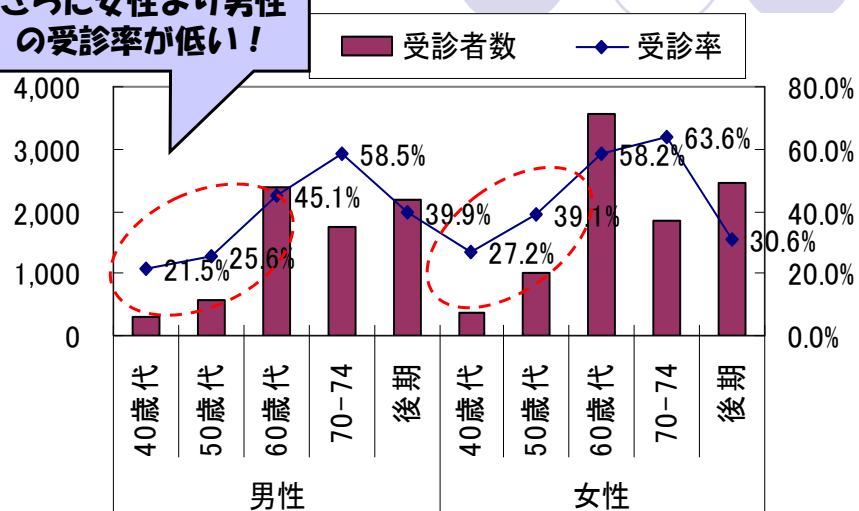
地域、職域保健の関係者と連携し、受診促進のための連絡調整

- 各健康福祉センターが中心となり、医師会、労働基準監督署、商工会議所、医療保険者などと連絡調整し、受診促進の対策を協議。(生活習慣病対策連絡会の実施)
- 各生活習慣病対策連絡会でチラシやポスターの作成

事例紹介

特定健診受診状況

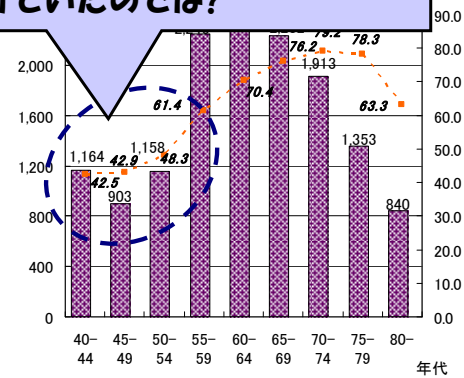
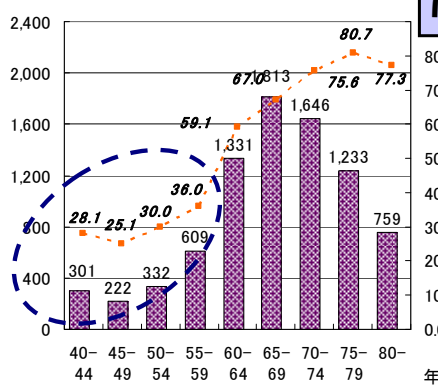
40代・50代が低く、
さらに女性より男性
の受診率が低い！



平成19年度 基本

若い女性の受診率がH20と比べるとそれでも高かった。
社保の家族が受診率を押し上げていたのでは？

基本健康診査年代別受診状況（男）



みんなで進める健康づくり！



しずおか健康創造21

あなたの健康 今、そして未来のために

ご清聴ありがとうございました